

お得意様各位

令和8年6月12日

株式会社 タテムラ  
システムサービス課  
福生市牛浜104

System-V 法人税申告書・財産評価・届出書・電子申告等の送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

令和8年度法人税申告書・財産評価・届出書・電子申告プログラムが完成しましたのでお届けします。

※すでに作成済みの『令和8年4月1日以後終了事業年度』法人税申告書データにおいては  
[110]入力画面を開き、別表の各項目データの確認を行ってから印刷、電子申告作業を行っていただきますようお願いいたします。  
★印刷での確認ではなく入力画面での確認が必要です★ 詳細はP.7をご覧ください。

電子申告システムをお持ちのお客様は、電子申告環境設定の更新作業も行ってください。  
令和8年5月25日以降更新を待っていただきおりましたe-Taxソフトにつきましても、あわせて更新作業を行っていただきますようお願いいたします。(e-Tax更新を行わないとデータ変換が正しくできませんので必ず行ってください。)

詳しくは、同封の資料を参照の上、更新作業を行っていただきますようお願い申し上げます。  
今後とも倍旧のお引き立てのほど、宜しくようお願い申し上げます。

敬具

## 送付資料目次

※改正保守のご加入(未納含む)及びご注文にもとづき、以下の内容を同封しております。

### 送付プログラム

- ・ System-V 法人税申告書・財産評価・届出書・電子申告等更新 CD-R 1枚  
電子申告環境設定

※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

### 取扱説明書

- ・ <https://www.ss.tatemura.com/> より確認できます。

### 案内資料

- ・ 同封物の解説及びバージョン一覧表 . . . . . 1
- ・ [1000]プログラムの更新作業 . . . . . 2～3
- ・ 電子申告 環境設定インストール方法 . . . . . 4～6
- ・ 法人税申告書 更新内容 . . . . . 7～10
- ・ 【令和8年度プログラムでのデータ確認と注意事項 . . . . . 7】
- ・ 財産評価プログラム 更新内容 . . . . . 11
- ・ 届出書セットプログラム 更新内容 . . . . . 11
- ・ 電子申告システム 更新内容 . . . . . 12

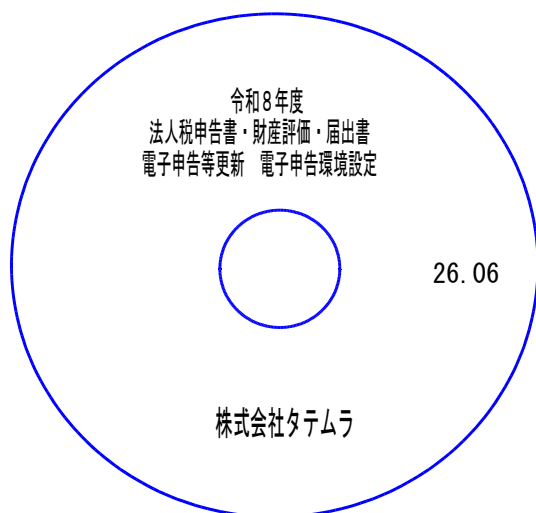
## 送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡くださいますようお願いいたします。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用ください。

TEL 042-553-5311 (AM10:00～12:00 PM1:00～3:30)  
FAX 042-553-9901

以上

ご注文および保守契約に合わせて、以下のCD-Rを同封しております。



No	ラベル名	枚数	備考
1	令和8年度 法人税申告書・財産評価・届出書・ 電子申告等更新 電子申告環境設定	1	プログラムインストールCD-Rです。 契約プログラムのみインストールします。

転送後のバージョン確認

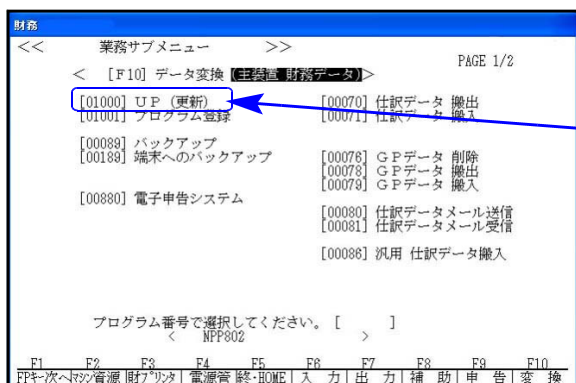
下記のプログラムは **F9** (申告・個人・分析) の1頁目・2頁目、**F10** (データ変換) の1頁目に表示します。

PG番号	プログラム名	HD-VER	備考
97	GP年度更新	V-6.27	今回変更の各プログラムに対応しました。
110	法人税申告書 R8年度	V-6.70	法人税 令和8年改正に対応しました。 ★作成済データは、更新後に各別表の入力画面を開いて 金額、セレクトボックス等の確認を必ず行ってください。
(110内) 200	*オプション* 追加法人税申告書	V-6.70	※[190]WP版プログラムにつきましては令和8年度版の開発 を見合わせていただいております。
550	財産評価 令和8年4月1日以降版	V-6.60	取引相場のない株式第5表・第8表の「法人税率等の 合計割合(37%→38%)」改正に対応しました。
1110	届出書セット R8年度	V-6.70	「退職所得申告書」の様式変更に対応しました。
880	電子申告	V-6.38	令和8年5月25日のe-Taxの更新に対応しました。

※電子申告をご利用のコンピュータにおきましては、電子申告環境設定  
インストールも行ってください。(P.4~6)

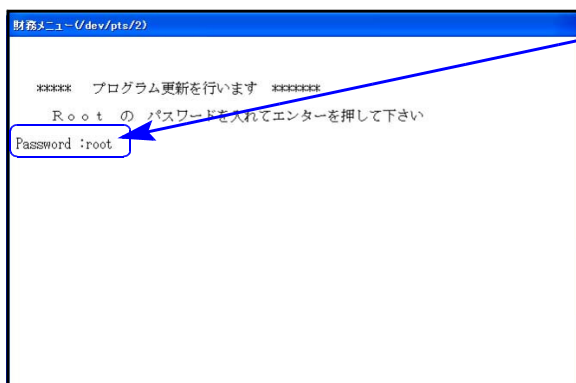
## ● 操作方法

- ① 「令和8年度法人税申告書・財産評価 更新～ 26.06」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② F10 データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより F10 データ変換を選択します。[1000] UP (更新) を呼び出します。

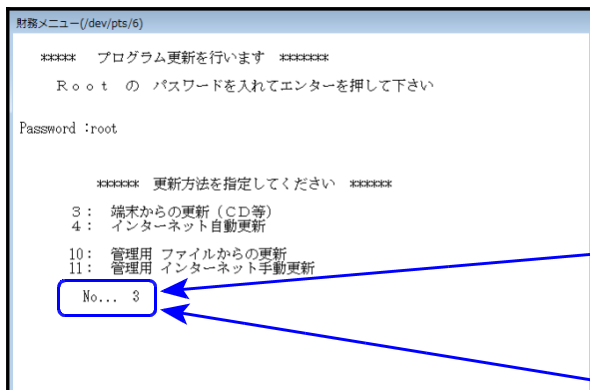
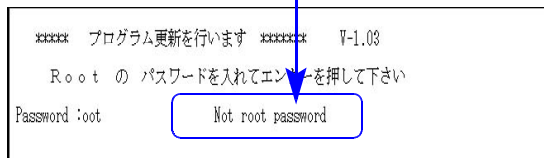
1000 Enter を押します。



Enter を押します。  
(rootは入力しません)

root は消さないようにしてください。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。



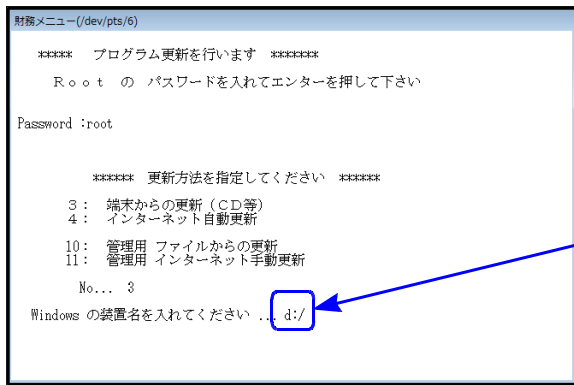
- ③ 左図の画面を表示します。

CD-Rがセットされていることを確認後、『3』端末からの更新(CD等)を選択します。

3 Enter と押します。

※ 親機にCD-Rをセットした場合は 2 Enter を押します。

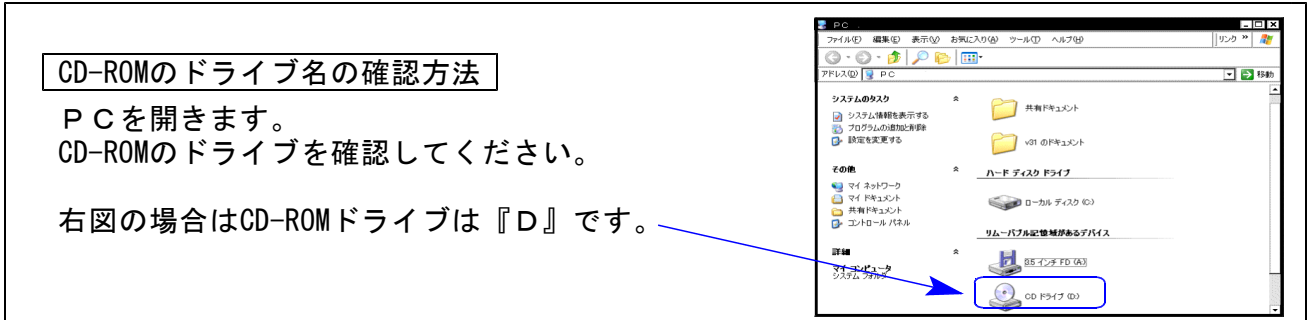
→ ⑤へ移動



- ④ 『3』 端末からの更新 (CD等) を選択すると『Windowsの装置名を入れてください..d:/』等、前回指定したドライブ名を表示しますのでCD-ROMのドライブ名を確認します。

表示したドライブ名が違う場合は、入力後 **Enter** を押します

※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認してください。



- ⑤ インストールを実行します。  
左図の1行目の画面を表示します。  
『OOOをインストールします[y/n/a/1]?...』  
**a** 又は **1** を選択します。  
※誤って、**y** を選択した場合は2行目以降で **a** 又は **1** を選択してください。

- ⑥ 2行目以降を表示します。  
終了が出た後しばらくお待ちください。

- ⑦ インストールが終了すると左図の画面を表示します。  
CD-Rを本体から取り出してください。  
他の端末が起動していないことを確認します。

※ここに転送作業中の端末名のみ表示していることを確認します。他の端末名を表示している場合はその端末を終了してください。

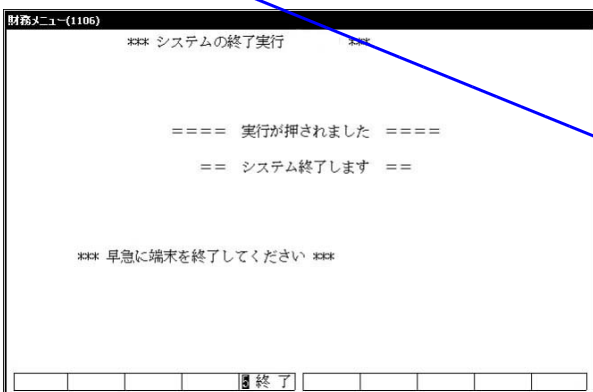


**単体の場合**

**中止** (F5) を何回か押してシステムを終了しWindows画面、もしくはポータル画面まで戻ります。戻った後、3分ほど待ち、再度システムを起動してください。

**ネットワークの場合**

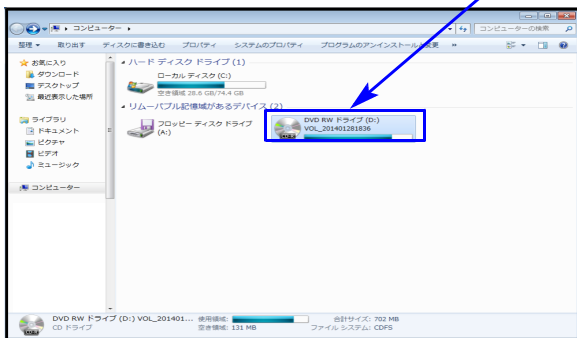
**実行** (F3) を押し、しばらくお待ちください。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的にマルチタウ端末が終了、その後親機の電源も自動的に切れて再起動します。(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても再起動しない場合、電源が切れて再起動させてください。)



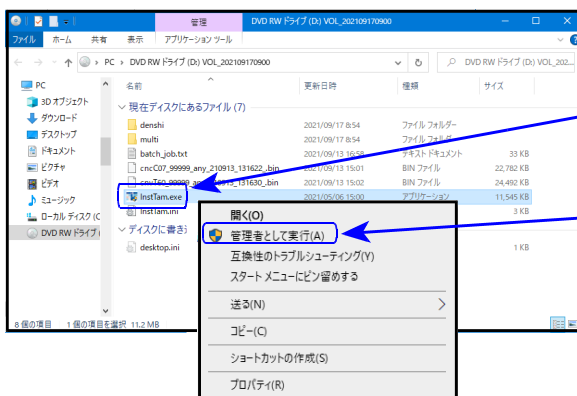
※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

インストールを行う際は、全てのプログラムを終了してください。（マルチウィンドウ端末も閉じます。）

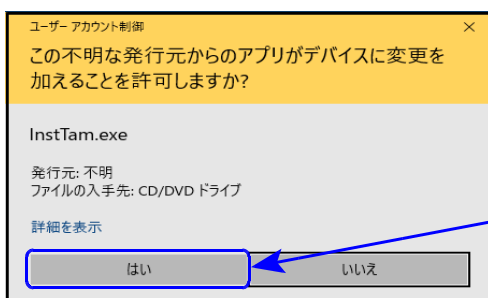
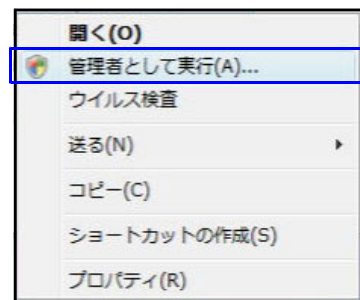
1. 今回送付した「令和8年度法人税申告書・財産評価 ～ 更新 26.06」と書いてあるCD-Rを用意して端末機にセットします。
2. PCをダブルクリック→DVD-RWドライブをダブルクリックします。



※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。  
OK をクリックするとCD-Rの内容を表示します。



3. CD-Rの内容を表示しますので『InstTam.exe』を右クリックし、『管理者として実行』をクリックします。



4. 「許可しますか？」と表示します。「はい(Y)」をクリックします。



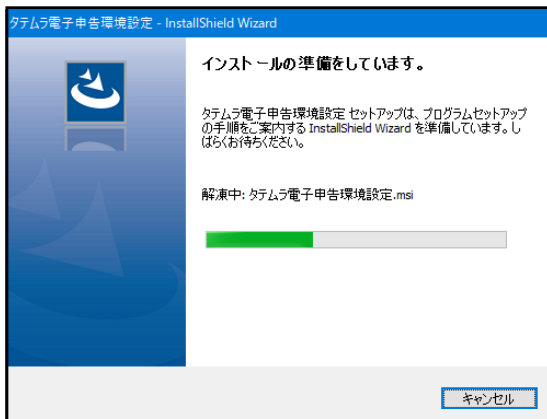
5. 左図の画面を表示します。

電子申告の環境設定をインストールします。

「インストール」をクリックします。

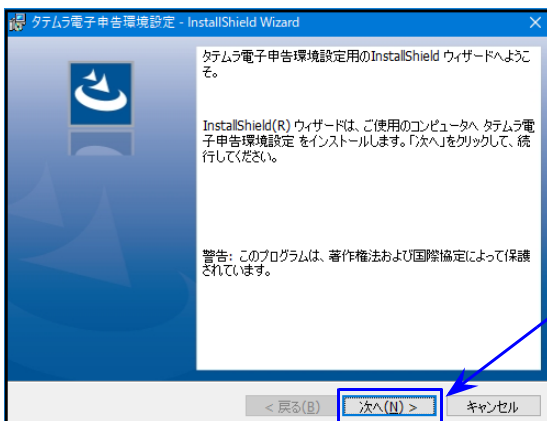
※ご利用の環境によっては、

**インストール** クリック後、次の画面に変わるまで数分間無反応状態に見えることがあります。再クリックはせずにそのままお待ちください。



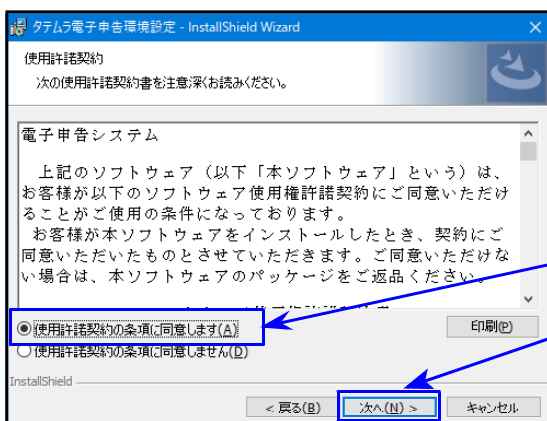
6. 左図の画面を表示します。

7. の画面を表示するまでお待ちください。



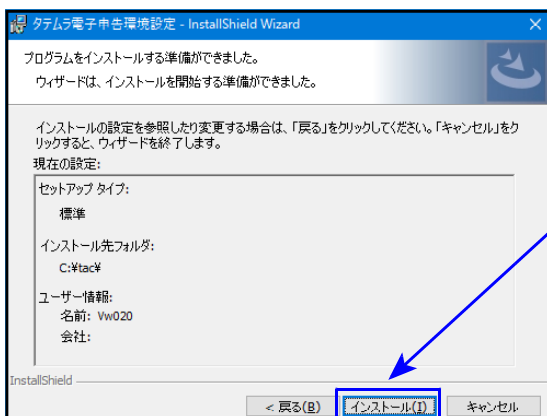
7. 左図の画面を表示します。

「次へ」をクリックします。



8. 左図の画面を表示します。

使用許諾契約書をお読みいただき、「同意します」に●を付け替えた後、「次へ」をクリックします。

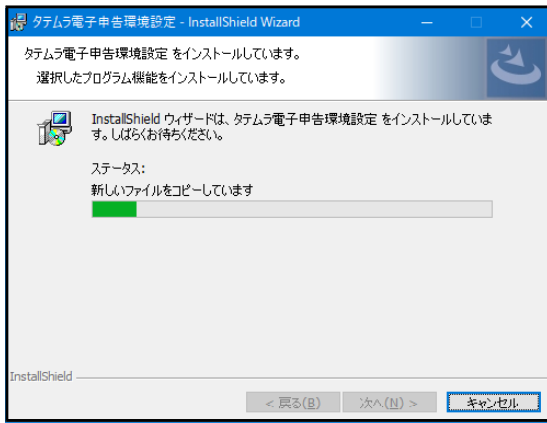


9. 左図の画面を表示します。

「インストール」をクリックします。

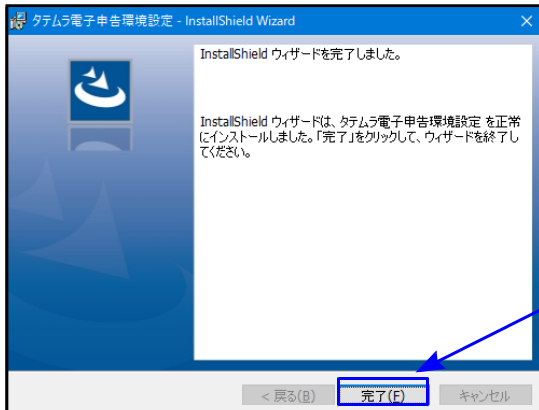
※ご利用の環境によっては、

**インストール** クリック後、次の画面に変わるまで数分間無反応状態に見えることがあります。再クリックはせずにそのままお待ちください。



10. 左図の画面を表示します。

更新作業が始まります。  
11. の画面になるまで、そのまましばらくお待ちください。



11. 更新作業が完了すると左図の画面を表示します。

「完了」をクリックします。

12. 左下図の画面に戻ります。  
閉じる をクリックします。



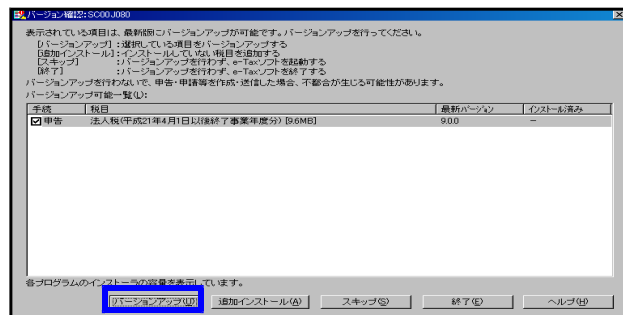
以上で更新作業は終了です。

※e-Taxソフトの更新も行ってください。

## e-Taxソフトの更新が必要です

e-Taxのバージョンアップが令和8年5月25日にあり、更新をお待ちいただいておりますが、今回、弊社電子申告ソフトの更新と一緒にe-Taxソフトの更新作業も行っていただきますようお願いいたします。以下の方法でバージョンアップしてください。

1. デスクトップ上のe-Taxソフトのアイコンをダブルクリック。
2. インターネット接続をOK→国税庁からのお知らせをOK、にして進みます。



3. 上記の画面が表示されましたら、「バージョンアップ」をクリックし、画面に従ってバージョンアップ作業をお願いいたします。

【令和8年度プログラムでのデータ確認と注意事項】

※必ず行ってください※

すでに作成済みの『令和8年4月1日以後終了事業年度』データにおいては、**入力画面を開いて**

以下の別表の各項目データの確認を行っていただきますようお願いいたします。

★印刷での確認ではなく、入力画面での確認が必要です★

今回の更新で、改正対応以外に「新様式(AI-OCR)先行対応」として下記について変更しております。

1. 別表一、別表三(一)、別表六(二)「000」固定表示の廃止
2. 別表二「続柄」をセレクトボックスに変更
3. 金額マイナス表示「△」を「-」に変更 ※様式で△固定の項目は変更なし  
※別表四、別表五(一)は入力・印刷で別々に持っていた内部データを一本化

1のうち「000」固定入力だった項目と、2のセレクトボックスにつきましては、プログラム更新後、初めて入力画面を開いたときに一度だけ令和8年データへ変換してセットします。

正しくデータが変換されているか確認してください。また、異なる場合は入力してください。

- 1の確認箇所：「000」固定の表示をやめています。全体の金額確認をお願いします。  
また、下記の入力「000」固定廃止項目は特に確認を行ってください。

別表一：[5][74][75][76]欄

土地	課税土地譲渡利益金額	5
別表3-2[24]+別表3-3[20]等		

別表六(二)：[50]欄 ※オプション

地方	課税標準法人税額	50
----	----------	----

【次葉2】		
中小法人等	法人	税額
(1)のうち中小法人等の年800万円相当額以下の金額(1)と800万×12/12のうち少ない金額)	74	12 [74][75][76]手入力
(1)のうち特例税率の適用がある協同組合等の年10億円相当額を超える金額(1)-10億円×12/12	75	
その他の所得金額(1)-(74)-(75)	76	

- 2の確認箇所：各続柄がセレクトボックスに変更となりました。数字の付いた続柄がセットされているか確認してください。

別表二：[続柄]欄

上段水色のセレクトボックスを確認してください。

空欄の場合  
セレクトボタンをクリックし、表示した選択肢の中から該当の続柄をクリックします。

続柄
本人
02:配偶者
配偶者
長男

- 01:本人
- 02:配偶者
- 03:父
- 04:母
- 05:義父
- 06:義母
- 07:長男
- 08:次男
- 09:三男
- 10:長女
- 11:次女
- 12:三女
- 13:子
- 14:孫
- 15:祖父
- 16:祖母
- 17:兄弟
- 18:姉妹
- 99:その他

※「夫」「妻」は「配偶者」

- 3の確認箇所：別表四[29]を手入力していた場合は、金額が消えます。入力し直してください。

法人税額から控除される所得税額 (別表8-1「8の[3]」)	29		その他
-----------------------------------	----	--	-----

そのほか別表四、別表五(一)において、様式△固定以外の項目でのマイナス金額が「-」表示になっていることを確認してください。

## ● 改正による更新内容

令和8年度改正による、法人税申告書の変更内容は以下の通りです。

内容変更に伴い

- ・各表の転記元、転記先の画面文字も変更しております。
- ・入力メニュー、印刷メニュー、帳票選択等も変更となりました。
- ・年度更新も対応しました。

### 法人税申告書

表 種	その 他 の 変 更 内 容																	
法人税申告書 別表一	<p>防衛特別法人税の創設に伴い、[別表一、次葉一、次葉二]の三枚一組となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右枠外が、『令八・四・一以後終了事業年度等分』になりました。</li> <li>・申告書名に「防衛特別法人税」記載欄が追加となりました。</li> <li>・次葉の項目番号変更により、各項目名内の番号が変更となりました。</li> </ul>																	
次葉一	防衛特別法人税用が追加となりました。																	
次葉二	今までの次葉が次葉二になり、項目番号が変更となりました。																	
別表三(一)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛特別法人税の追加により、[12]欄の項目名及び防衛特別法人税額の集計が追加となりました。</li> <li>・[22][23]欄の転記元項目番号表示が変更となりました。</li> </ul>																	
別表三(一)付表一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[20][28]欄の転記元項目番号表示が変更となりました。</li> </ul>																	
別表四	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[2]欄の項目名に「防衛特別法人税」が追加となりました。</li> <li>・[27]欄の転記元項目番号表示が変更となりました。</li> <li>・[48]欄の項目名から「再投資等準備金積立額」が削除となりました。</li> </ul>																	
別表五(一)	[27]欄の項目名に「未納防衛特別法人税」が変更となりました。																	
別表五(二)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[1]～[5]欄のタイトルに「防衛特別法人税」が追加となりました。</li> <li>・[3]中間及び[4]確定の②当期発生税額に防衛特別法人税額の集計が追加となりました。</li> </ul> <p>※中間の内訳をピンク枠の欄へ入力します→3つの合計額が「当期発生税額」になります。</p> <table border="1" data-bbox="635 1438 1417 1711"> <thead> <tr> <th colspan="2">税目及び事業年度</th> <th>期首現在未納税額 [1]</th> <th>当期発生税額 [2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">法人税 期間 防衛特</td> <td>中</td> <td>[2]内訳別表1[14] 5,000,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2]内訳別表1[39] 600,000</td> <td>5,700,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2]内訳別表1[58] 100,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>確 定</td> <td>別表1[15-22]+[40-42] +[59-61] ※中間無 →</td> <td>6,608,900</td> </tr> </tbody> </table>	税目及び事業年度		期首現在未納税額 [1]	当期発生税額 [2]	法人税 期間 防衛特	中	[2]内訳別表1[14] 5,000,000			[2]内訳別表1[39] 600,000	5,700,000		[2]内訳別表1[58] 100,000		確 定	別表1[15-22]+[40-42] +[59-61] ※中間無 →	6,608,900
税目及び事業年度		期首現在未納税額 [1]	当期発生税額 [2]															
法人税 期間 防衛特	中	[2]内訳別表1[14] 5,000,000																
		[2]内訳別表1[39] 600,000	5,700,000															
		[2]内訳別表1[58] 100,000																
	確 定	別表1[15-22]+[40-42] +[59-61] ※中間無 →	6,608,900															
別表十四(二)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益信託に対する寄附金の追加により、[3]寄附金額計欄、[19]損金算入額欄、[45]明細欄が追加となりました。</li> <li>・各寄附金額明細欄が、1頁3行→2行に変更となりました。</li> </ul>																	
納付税額一覧表	「防衛特別法人税」の欄を追加しました。																	
適用額明細書	<p>[110]プログラムで各別表からデータ読みするもののうち、区分番号00663の法人税関係特別措置が廃止となりました。</p> <p>※別表十六(六)[8]欄からの読み込みを廃止しました。</p>																	

[200] 法人税申告書 追加別表オプション ※オプションプログラムをご購入の場合のみ※

表 種	そ の 他 の 変 更 内 容
別表六(二)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防衛特別法人税にかかる外国税額の控除に関する明細書[57]～[66]」欄が追加となりました。</li> <li>・[19][20]欄の転記元項目番号表示が変更となりました。</li> </ul>
別表六(三)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防衛特別法人税」[3]欄が追加となりました。</li> </ul>
別表六(六)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[2][25][26]欄が追加となりました。</li> <li>・令和7年様式の[19][20][21]欄が削除となりました。</li> <li>・[20]欄の項目名が変更となりました。</li> <li>・変更となった各別表の項目の番号表記が変更となりました。</li> </ul>
別表六(九)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[5][6][16]欄が追加となりました。</li> <li>・令和9年4月1日以後に開始する事業年度の場合の[18]～[21][28]～[30]欄が追加となりました。</li> </ul>
別表六(十)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[5][6]欄が追加となりました。</li> <li>・前期繰越分[23]～[27]、法人税額の特別控除額[28]、翌期繰越税額控除限度超過額の計算[29]～[31]欄が追加となりました。</li> </ul>
別表六(十二)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国外委託研究費の額[14]、控除対象特別試験研究費基準額[16]欄が追加となり、当該項目名に「控除対象」「又は(16)の計」が追加となりました。</li> <li>・[12]欄タイトルの措置法表記が変更となりました。</li> </ul>
別表六(十五)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[15][20]欄の転記元項目番号表示が変更となりました。</li> </ul>
別表六(二十一)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[22][26][28]欄の転記元項目番号表示が変更となりました。</li> <li>・[37][38]欄タイトルの措置法表記に「旧」が追加となりました。</li> </ul>
別表六(二十三)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[19][24]欄の転記元項目番号表示が変更となりました。</li> </ul>
別表六(二十四)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年4月1日以後に開始する事業年度の場合[35]～[40]欄が追加となりました。</li> </ul>
〃 付表一	別表六(二十四)の項目番号変更により、[25][26]欄の集計項目表示が変更となりました。

※地方税申告書『第6号様式別表5』のR7.3.31以前開始様式はメニューから削除しました。

## ● 改正以外の更新内容 (P.7と重複する内容あり)

令和8年9月より、国税庁の申告書様式が新様式(AI-OCR)に変更となります。これに先立ち、今までのプログラム仕様では対応できない点について改善しております。

※すでに作成済みの『令和8年4月1日以後終了事業年度』データにおいては、入力画面を開き、別表の各項目データの確認を行っていただきますようお願いいたします。

★印刷での確認ではなく、入力画面での確認が必要です★

### 金額欄「000」「00」固定箇所の内部データ変更

【別表一、別表三(一)、\*オプション別表六(二)】

印刷様式「000」「00」を固定せず、金額そのままを印刷するようにしました。

このことにより、今まで入力と印刷でそれぞれ保存していた内部データを一本化しました。

また、以下の項目は今までと保存メモリを変更しています。入力画面で金額確認を必ず行ってください。

別表一[5][74][75][76]、別表三(一)[1][2][3]、別表六(二)[50]

### 続柄欄のセレクトボタン化

#### 【別表二】

「続柄」が新様式では番号入力になることから、セレクトボックス化しました。  
入力画面でセレクトボックスでの選択を行ってください。

※令和8年電子申告変換からセレクトボックスのデータで変換します。セレクトボックスにデータがない場合は続柄が変換されませんので、必ず選択入力してください。

### マイナス金額「△」を「-」表示に変更

#### 【全別表】

画面表示及び印刷におけるマイナス金額「△」を「-」に統一しました。

※様式に△が固定となっている項目は変更せず、△表示します。

また、別表四と別表五(一)においては、入力と印刷でそれぞれ保存していた内部データを一本化しておりますので、マイナス金額が正しく表示されているか確認してください。

また、以下の項目は今までと保存メモリを変更しています。入力画面で金額確認を必ず行ってください。

別表四[29]の上書き

### 続表の〔別紙〕を廃止

#### 【別表二、別表六(一)、別表十四(二)】

2頁目以降も、国税庁様式に印刷するよう変更しました。

なお、別表二は今まで1頁9行としていましたが、国税庁様式の13行に合わせて変更しました。

## ● その他

#### 【WP版法人税申告書について】

[190] WP版法人税申告書プログラムは電子申告に対応していません。また、令和8年9月に国税庁にてAI-OCR導入に伴う大幅な様式改定があります。

これらを踏まえ、今後のシステム開発全般について弊社にて検討を行いました結果、WP版プログラムの更新を今回見送らせていただきました。

[110] 法人税申告書システムをご利用いただきますようお願い申し上げます。

【取引相場のない株式等の評価】

第5表

第8表

防衛特別法人税の創設に伴い、「法人税率等の合計割合」が37%→38%に改正となりましたので、対応しました。

<https://www.nta.go.jp/law/joho-zeikaishaku/hyoka/r0803/pdf/01.pdf>

※令和8年の相続、遺贈又は贈与で、3月31日以前に取得した取引相場のない株式等の評価の場合は、『令和6年』プログラムを指定してください。

番号で選択してください。 [ 550 ]      年度指定     無     有

データーの年度    令和    8    年

プログラム年度

2:アソビ資源	3:財フアリカ	4	令和 8 年
			令和 8 年
			令和 6 年
			令和 5 年

令和8年  
4月1日以後は 令和 8年（38%）  
3月31日以後は 令和 6年（37%）

届出書セットプログラム 更新内容

【退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書】

様式の改正に対応しました。

C欄の⑥が変更になりました。

C	あなたが前年以前に次の退職手当等の支払を受けた場合には、その退職手当等について、このC欄に記載してください。	⑥ 左記の前年以前に支払を受けた退職手当等についての勤続期間	自	年	月	日	年	
	(1) 前年以前4年以内に退職手当等の支払を受けた場合（(2)及び(3)の場合を除きます。）前年以前4年以内に支払を受けた退職手当等	⑦ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑥の勤続期間と重複している期間	自	年	月	日	年	
	(2) 令和8年1月1日以後、かつ、前年以前9年以内に確定拠出年金法に基づく一時金の支払を受けた場合（(3)の場合を除きます。）次の退職手当等 ・令和8年1月1日以後、かつ、前年以前9年以内に支払を受けた退職手当等 ・令和8年1月1日前、かつ、前年以前4年以内に支払を受けた退職手当等	⑧ うち 特定役員等勤続期間との重複勤続期間	有 無	自 至	年 年	月 月	日 日	年 年
	(3) 本年中に確定拠出年金法に基づく一時金の支払を受ける場合 前年以前19年以内に支払を受けた退職手当等	⑨ うち 短期勤続期間との重複勤続期間	有 無	自 至	年 年	月 月	日 日	年 年

B又はCの退職手当等がある場合には、このE欄にも記載してください。

区分	退職手当等の支払を受けた年月日	収入金額 (円)	源泉徴収額 (円)	特別徴収額 (円)	税額 (円)	支払を受けた年月日	退職の区分	老齢給付金	支払者の所在地 (住所)・名称(氏名)
								有 無	
E B	一般	・	・			・	一般	/	
	特定役員	・	・			・	一般		
	短期	・	・			・	一般		
C	・	・				・	一般		

E欄「老齢給付金」欄が追加となりました。

※すでに作成済みの『令和8年4月1日以後終了事業年度』法人税申告書データにおいては [110]入力画面を開き、別表の各項目データの確認を行ってから電子申告作業を行っていただきますようお願いいたします。★印刷での確認ではなく、入力画面での確認が必要です★

1. 税制改正によるe-Tax更新に伴い、弊社法人税申告書電子申告変換も対応しました。

e-Tax対応別表

令和8年6月時点での e-Tax電子申告ソフト受付 別表は変換画面に表示する別表のみです。

法人税申告書 (\* のついている表はオプションです。)

<input type="checkbox"/> 別表 1	<input type="checkbox"/> 別表 6-2*	<input type="checkbox"/> 適用額明細書
<input type="checkbox"/> (別表1次葉1)	<input type="checkbox"/> 別表 7-1	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> (別表1次葉2)	<input type="checkbox"/> 別表 8-1	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 別表 2	<input type="checkbox"/> 別表 11-1	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 別表 4(一般)	<input type="checkbox"/> 別表 11(1の2)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 別表 4(簡易)	<input type="checkbox"/> 別表 15	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> (別表 4 次葉)	<input type="checkbox"/> 別表 16-1	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 別表 5-1	<input type="checkbox"/> 別表 16-2	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 別表 5-1付	<input type="checkbox"/> 別表 16-6	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 別表 5-2	<input type="checkbox"/> 別表 16-7	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 別表 6-1	<input type="checkbox"/> 別表 16-8	<input type="checkbox"/>

※上記以外の別表※  
 e-Taxでの用意がないため変換しません。  
 e-Tax未対応の別表につきましては、PDF添付送信 または 別途郵送等で提出していただきますようお願いいたします。

すべての別表が受付開始となるのは、例年ですと9月中旬（特別償却の付表は12月）のe-Tax更新以後です。e-Taxの受付開始に合わせて弊社の変換も対応します。

2. メッセージボックス内「報告書」

報告書の種目に「防衛特別法人税」が追加となりましたので、対応しました。

3. 別表二の「続柄」変換をセレクトボックスデータに変更しました。

今までは入力文字から電子申告での番号に置き換えてデータ変換をしていましたが、[110]法人税申告書プログラムにおいて電子申告及びAI-OCRの番号に合わせたセレクトボックスに変更したことから、変換方法を変更しました。

上段のセレクトボックス（水色）のデータを変換します。

続 柄
本 人
02:配偶者 配偶者
長男

セレクトボックスが空欄の場合はデータなしの状態のため続柄は変換されません。